



二つの地方水道工事

神奈川県営水道敷設工事 は昨年内務省の認可に接し爾來實施設計を進めつゝあつたが同工事の内水源工事に不備の點あり一部變更を行ふと共に之に伴ふ工費三十五萬圓の追加工事費の起債につき豫て内務省に稟申中の處今回正式に認可となつたので愈々近く着工の運びとなつた。

同工事は横須賀市外十二ヶ町村の昭和二十年に於ける推定人口約三十七萬人に給水せんとするため行はれるもので、これが總工費は五百二十萬圓の巨額に達し、今回の設計變更による工事は

水源地寒川村地内相模川左岸畑地内の河床下三米に集水櫃を設置して表流水を伏流せしめこれを集水して完全なる淨化装置を行ふこととなつたもので更に此の變更により導水管の延長、混和池及沈澱池の新設、濾過方法の變更、唧筒設備の擴大、建築物増設等の諸工事が新に施工されることとなつてゐる。(寫眞は寒川村地内現場に搬入されたヒュームコン

クリート集水管)

所澤町営水道 埼玉縣所澤町ではかねて水道敷設の計畫をたてつゝあつたがこのほどその水源として同町役場前に日本鑿泉合資會社の手により鑿井試掘した結果、地下760尺に達して良質の湧水を見たので、茲に鑿泉水道によるべく決定した。寫眞は町役場前の鑿井で一晝夜の湧水量14,000石と云はれる。

